

学 習 計 画		(科目名 国語総合 ／1年)
学 期	学習項目	学習内容・方法
第 1 学 期	随想「書きたい気持ちを大切にしたい」 随想「自立と依存」 詩 「道程」 「I was born」 小説「羅生門」 短歌・俳句 「清水へ」 「手毬唄」	・随想を読む楽しさを味わう。自己の日常を振り返り、「書くことの偉大さ」について考え、今後のコミュニケーションに生かす。 ・評論的な要素を持つ随想の読み方を習得する。具体例が本文の展開にどのようにかかわっているか理解する。 ・近代詩を読み味わう。作品世界をつかみ、詩に込められた作者の思いを理解する。 ・現代詩の鑑賞のしかたを習得する。生まれることの意味について、自分なりの考えを深める。 ・小説の基本的な読解方法を習得する。登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 近代の代表的な小説を読んで、短編小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。 ・近現代短歌・近現代俳句の代表的な作品を味わう。 短歌・俳句特有の修辞について学び、鑑賞方法を身につける。 日本語への理解を深め、想像力や感受性を豊かにする。
第 2 学 期	説話『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 説話『沙石集』 「児の知恵」 随想「赤い頬をした動物」 小説「卒業ホームラン」 随筆『徒然草』	・古文に親しみをもち、話のおもしろさを理解する。話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歴史的仮名遣いを理解する。文語文と口語文の違いを理解する。 ・評論的な要素を持つ随想の読解方法を習得する。人間とはどういうものか見つめ直し、自分なりの考えを深める。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 現代小説に触れ、自己に引きつけながら読む態度を養う。 題名に込められた意味について考える。

	「つれづれなるままに」 随筆『徒然草』 「仁和寺にある法師」	・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 - 文章の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 - 助動詞・助詞について理解し、口語訳に生かす。
第 3 学期	評論「ものまね上手・創造上手の日本の技術」 漢文 「漢文入門」 「五十歩百歩」 「矛盾」	・評論の読解方法を習得する。これからの情報化時代に向けて日本はどうしていけばよいか、自己の問題として考える。個性的な文体に注目し、筆者の批評精神のあり方をとらえる。 ・漢文に親しみをもつ。漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味・用法を理解する。 - 訓読のきまり、書き下し文のきまりを理解する。 - 訓点に従って、漢文を正しく読み、書き下し文に改める。 - 故事成語のもとになった話の内容をとらえたうえで、故事成語の現在使われている意味について理解する。 - 古代中国人のものの見方・考え方を知り、それとの比較を通して、日本文化をより深く理解する。